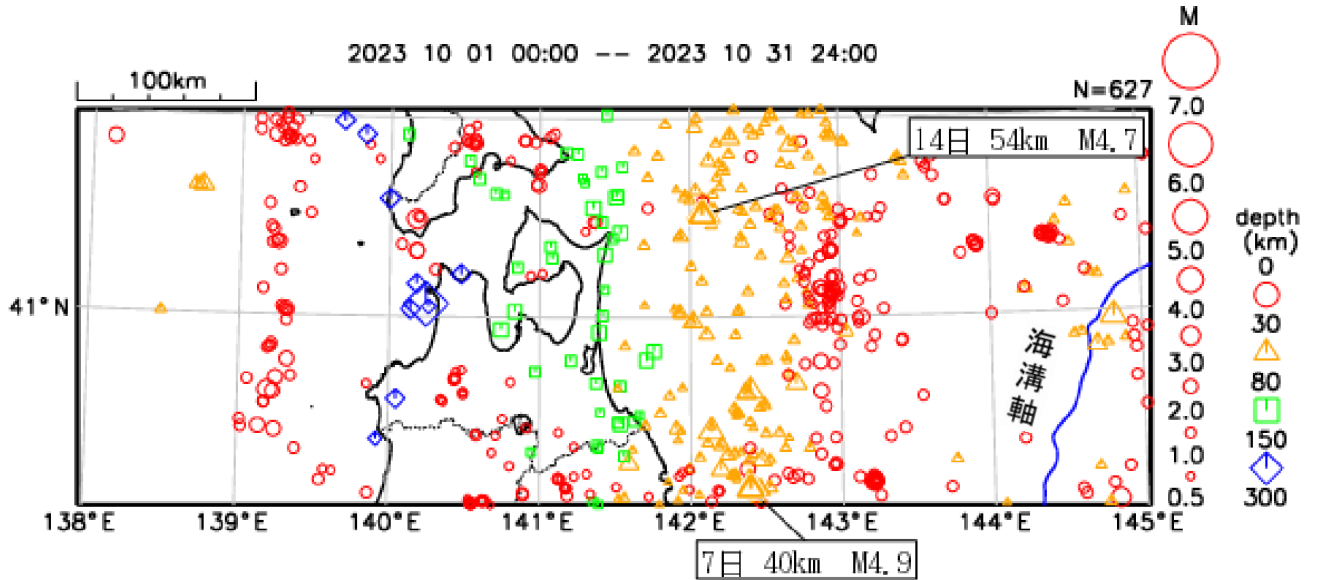


青森県月間地震概況

2023年10月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【10月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は627回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は13回であった。

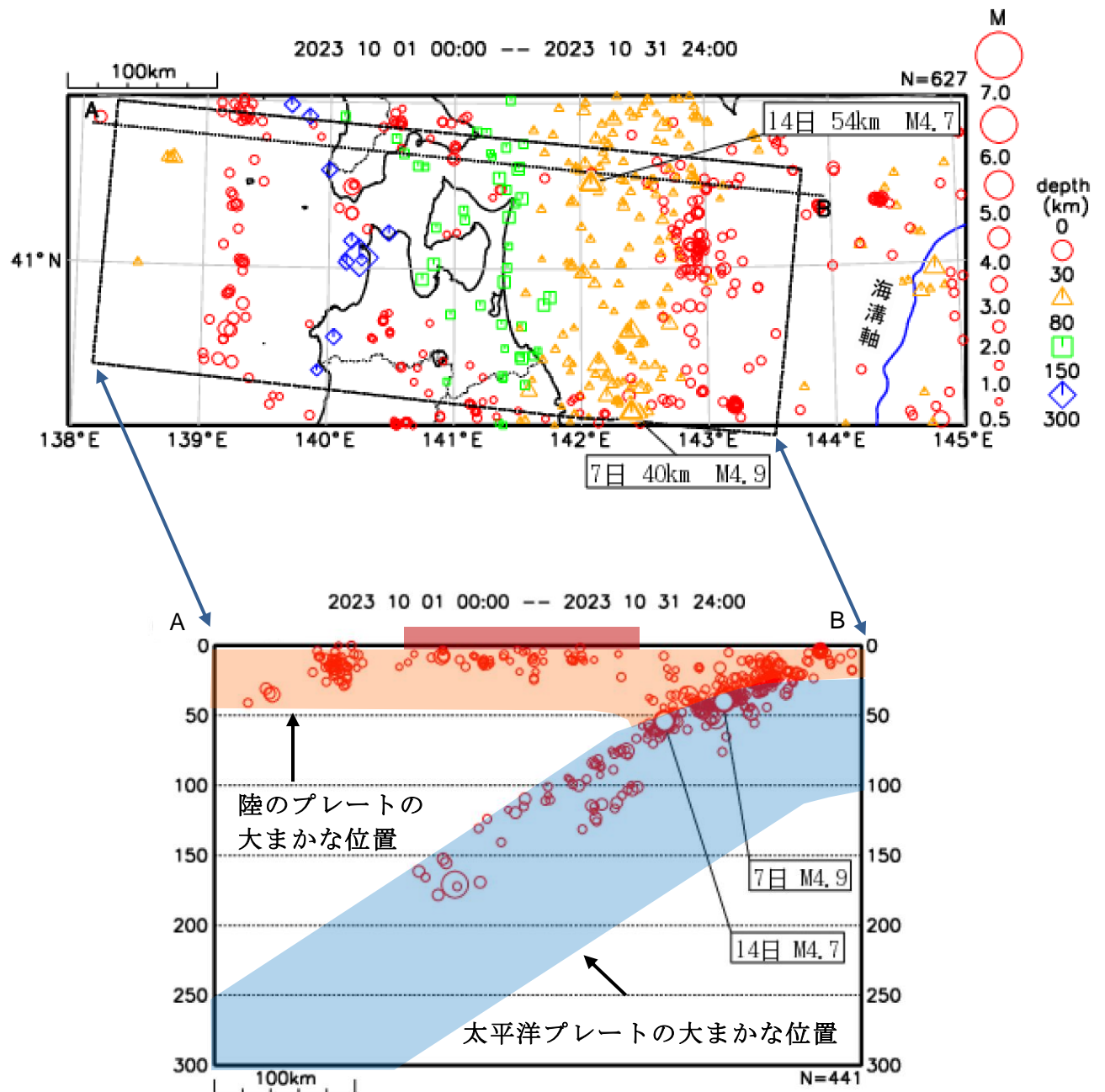
7日23時26分に岩手県沖の深さ40kmでM4.9の地震が発生し、岩手県で震度3を観測したほか、青森県から宮城県にかけて震度2～1を観測した。県内では、八戸市や野辺地町などで震度2を観測するなど、三八上北、下北及び津軽北部で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

14日11時29分に青森県東方沖の深さ54kmでM4.7の地震が発生し、青森県で震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度2～1を観測した。県内では、東通村で震度3を観測したほか、県内の広い範囲で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのことが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年10月1日～2023年10月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年10月01日06時21分	青森県東方沖	40° 37.0' N	142° 21.9' E	51km	M3.4
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸*				
2023年10月04日12時52分	岩手県内陸北部	40° 15.8' N	141° 35.4' E	75km	M3.4
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				
2023年10月07日23時26分	岩手県沖	40° 08.0' N	142° 23.4' E	40km	M4.9
青森県	震度 2 : 八戸市内丸* 八戸市南郷* 野辺地町田狭沢* 七戸町森ノ上* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* 震度 1 : 青森市花園 外ヶ浜町蟹田* 八戸市島守 八戸市湊町 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駁* 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 田子町田子* 青森南部町沖田面* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* むつ市川内町* むつ市脇野沢* 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糠* 東通村砂子又沢内*				
2023年10月09日14時09分	国後島付近	44° 28.9' N	146° 22.5' E	175km	M5.5
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 階上町道仏* おいらせ町中下田* むつ市大畑町中島* 東通村砂子又沢内*				
2023年10月11日23時10分	青森県東方沖	40° 37.5' N	142° 23.7' E	52km	M4.0
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町沖田面* 青森南部町苫米地* 青森南部町平*				
2023年10月13日18時59分	青森県西方沖	41° 03.7' N	140° 14.6' E	171km	M5.0
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 階上町道仏* 震度 1 : 青森市花園 今別町今別* 外ヶ浜町蟹田* 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 六ヶ所村尾駁 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*				
2023年10月14日11時29分	青森県東方沖	41° 30.7' N	142° 05.0' E	54km	M4.7
青森県	震度 3 : 東通村砂子又沢内* 震度 2 : 平内町小湊 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 野辺地町田狭沢* 六ヶ所村尾駁 五戸町古館 青森南部町苫米地* 階上町道仏* むつ市金曲 むつ市金谷* むつ市大畑町中島* 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糠* 震度 1 : 青森市花園 青森市中央* 青森市浪岡* つがる市車力町* 外ヶ浜町蟹田* 藤崎町水木* 八戸市島守 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 青森南部町沖田面* 青森南部町平* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市大畑町奥薬研 むつ市川内町* むつ市脇野沢* 東通村尻屋*				
2023年10月16日09時54分	秋田県内陸北部	40° 02.6' N	140° 40.5' E	4km	M3.2
青森県	震度 1 : 三戸町在府小路町*				
2023年10月18日00時39分	岩手県沖	40° 13.9' N	142° 11.8' E	46km	M3.6
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三戸町在府小路町*				

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年10月21日18時32分	浦河沖	41° 54.0' N	142° 16.2' E	58km	M3.9
青森県	震度1 : 東通村砂子又沢内*				
2023年10月22日21時48分	岩手県沖	40° 25.5' N	142° 08.1' E	36km	M4.3
青森県	震度2 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 野辺地町田狭沢* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 東通村砂子又沢内*				
	震度1 : 青森市花園 青森市中央* 平内町小湊 平内町東田沢* 外ヶ浜町蟹田* 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 田子町田子* 青森南部町沖田面* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* むつ市川内町* むつ市脇野沢* 東通村砂子又蒲谷地 東通村白糖*				
2023年10月29日11時13分	宮城県沖	38° 58.2' N	142° 29.3' E	29km	M4.5
青森県	震度1 : 青森南部町苫米地*				
2023年10月29日11時25分	宮城県沖	38° 58.2' N	142° 29.3' E	28km	M4.4
青森県	震度1 : 八戸市南郷* 青森南部町苫米地*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

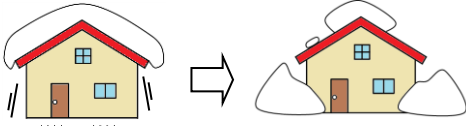
各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

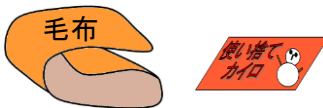
冬の大地震に対する備え

地震はいつ、どこで発生するかわかりません。もし、冬季に地震などの災害が発生した場合、夏季とは違った対策が必要です。そこで今回は冬に大地震が発生した時に備えてどのような対応をとればよいか説明します。

◆「雪の対策」

項目	地震発生時に予想される状況	対策
屋根の積雪	屋根からの落雪。 屋根の積雪状況によっては、地震の揺れと雪の重さによる家屋の倒壊。	屋根の雪下ろしをしておく。 
避難口の確保	家の周りが積雪状態だと安全に避難ができない。	玄関だけでなく、窓の周りもこまめに除雪をしておく。
斜面の積雪	なだれの発生により道路が通行できなくなる。	安全な場所へ移動する。 冬期の避難ルートを確認しておく。
暴風雪	歩行中や屋外で作業中のとき視界不良により避難できなくなる。 視界不良により、車での避難が困難になる。	近くの安全な建物などに避難して天気の回復を待つ。 避難時は、風で飛ばされてくるものに注意する。 重ね着や肌の露出を少なくし、体温が低下しないようにする。 最新の気象情報や道路情報を確認する。 暴風雪時の避難ルート・避難方法を確認しておく。

◆「寒さ対策」

項目	地震発生時に予想される状況	対策
電気・ガスのライフライン	地震によりライフラインが断となり暖房器具、電気、ガスが使用できなくなる。	ストーブや暖房器具が使えなくてもいいように防寒着や保温性の優れた下着などの防寒具、毛布、使い捨てカイロなどを準備しておく。 

◆「火災対策」

項目	地震発生時に予想される状況	対策
暖房器具の使用	暖房器具の転倒や倒れた家具、洗濯物、カーテン等への引火による火災。	身の安全を守ることが基本。暖房、調理器具は地震の揺れがおさまってから状況を確認する。 家具の耐震固定。消火器の確認。
電気・ガスのライフライン	停電が復旧した際に、電気がショートして火災の発生する恐れがある。	避難する時は、ブレーカを落とし、ガスの元栓を閉める。 ロウソクを使うと火事になりやすいので、懐中電灯などを用意しておく。

巨大地震対策オンライン講演会を開催します

気象庁では12月16日に巨大地震対策オンライン講演会を開催します。

今年、甚大な被害をもたらした関東大震災から100年にあたります。「北海道・三陸沖後発地震注意情報」運用開始からちょうど1年を迎えるこの機会に、改めて地震や津波について正しく理解していただき、いざという時には気象庁の様々な情報を最大限ご活用いただけるよう、第一線の専門家が解説します。

○ライブ配信：令和5年12月16日（土） 13時30分～16時00分

○参加費：無料

○定員：1000名（事前登録制）

当日に視聴できない方でもアーカイブ配信があります。

アーカイブ配信は、令和6年1月から1年程度配信されます。

アーカイブ配信は事前登録不要で、どなたでも視聴が可能です。

○講演題目等の詳細・事前登録方法

講演題目等の詳細や事前登録方法等は、別紙及び下記の特設サイトに掲載しています。ライブ配信後、アーカイブ動画の配信を開始しましたら、こちらの特設サイトに掲載します。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/r5_lecture.html

令和5年度 巨大地震対策オンライン講演会

強い揺れ・ゆっくりとした大きな揺れ・津波に備える
～繰り返し発生する巨大地震への理解と防災・減災～

参加無料
定員1,000名

ZOOM
ライブ配信
ライブ配信視聴：定員1,000名、事前登録制
アーカイブ配信：どなたでも視聴可能
アーカイブ配信期間：令和6年1月から1年程度

気象庁は、巨大地震の発生の可能性が平時より相対的に高まった時には、「南海トラフ地震臨時情報」や「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。また、このような巨大地震に伴う強い揺れや長周期地震動、津波に対して、緊急地震速報や津波警報といった予測情報を迅速に発表します。

関東大震災（大正関東地震）の発生から100年を迎える今年、これら地震津波情報を被害軽減のために最大限活用いただけるよう、オンライン講演会を開催します。

2023 12月16日（土） SAT
13時30分～16時00分

令和5年度 巨大地震対策オンライン講演会

スケジュール 開場 13:00 開会 13:30

第1講座 13:35 - 14:05 「地震・津波の基礎知識と気象庁の情報」 東田 進也 気象庁 地震火山部 調査課長

第2講座 14:10 - 14:40 「津波災害の実態と減災に向けての取組」 今村 文彦 東北大学 災害科学国際研究所教授

第3講座 14:45 - 15:15 「長周期地震動のメカニズムと高層建築の対策」 久田 嘉章 工学院大学院工学部教授

第4講座 15:20 - 15:50 「巨大地震・津波の被害想定と必要な備え・行動」 大内 伸 宮城県復興・危機管理部防災推進課長

全講座手話通訳付き

申込方法
ライブ配信はZoomを用いて行います。参加には事前登録が必要です。先着順で受付し、定員に達し次第締め切らせていただきます。下記URLもしくはQRコードのリンク先より必要事項を記入の上、お申し込みください。

【事前登録URL・QRコード】
https://zoom.us/webinar/register/WN_xQ9tNmXFTX20e0T53eBF9w#/registration
登録後、記入されたメールアドレスに当日参加のために必要なURLが届きます。ライブ配信では名簿の後にZoomのチャット機能を活用した質疑応答を行います。登録されていれば、途中参加・退出は可能です。

問い合わせメールアドレス：1216online@tokyo-seminar-studio.com

【アーカイブ配信について】
講演映像を後日YouTube 気象庁 / 知識・解説チャンネルによりアーカイブ配信いたします。

<個人情報保護について>
・ご記入いただいた個人情報は本セミナーに関する事項について使用する場合がございます。あらかじめご了承ください。
・お問い合わせについて>
メール：1216online@tokyo-seminar-studio.com
電話（平日9:00-17:00）：03-6758-3900（気象庁代番）（内線：5153）
講演会当日は上記メールアドレスへご連絡お願いいたします。

「東京フック」は東京直轄市が、復興のためにご活用いただけます。